

令和8年2月20日

村民の皆様へ

泰 阜 村 長

令和7年度泰阜村表彰について（おしらせ）

泰阜村表彰規則の規定による令和7年度泰阜村表彰受賞者が、令和8年1月20日の表彰審査委員会において下記の方に決定しましたのでお知らせします。

なお、表彰授与式を2月20日（金）午前11時から行いました。

記

○（個人）表 彰

佐々木 大恵 殿

人権擁護委員（人権擁護法により法務大臣が委嘱する公職）として通算4期12年の長きにわたり、憲法に保障されている基本的人権の擁護に多大な貢献があった。

生家である三耕地福壽院住職並びに人権擁護委員として地域を支える役職に励んでいる。

人権擁護委員

平成16年7月1日～平成19年6月30日 3年間

平成28年7月1日～令和7年6月30日 9年間

（団 体）

薬師の会 代表 林 銀一 殿

稲若会 代表 宮島徳男 殿

薬師の会は、平成25年から13年間にわたり、稲わらを加工した正月飾りを作成し、村内在住の単身高齢者世帯に配布する活動を実施。令和7年度には120戸へ配布した。

正月飾りの作成にあたっては、地区内の遊休農地の活用を行う稲若会と連携。

稲若会では、わら細工に適した品種を研究し、糯米「ミドリモチ」を播種から脱穀まで地区内で実施。耕作放棄地の防止に寄与した。その他村内の松の木やナンテンを使い、村内資源を有効活用しました。

わら細工の過程では、移住者の子ども、わんぱくクラブ、緑のふるさと協力隊、法政大学等を受け入れ共同作業をすることで関係人口を生み出した。

○感 謝 状

（個人）

小島 益恵 殿

泰阜村ふるさとおもいやり基金について合計100万円以上の寄付があった。（令和7年4月9日百万円）

また、長きにわたり中京泰阜会に所属され、ふるさと泰阜を思い在宅福祉に多額の寄付をされた。

小島益恵さんは故人となっており、ご子息様から「母のお金なので、母の名前」で感謝状の授与をお受けしたいと申し出があった。